

社会資本総合整備計画

平成28年 3月23日

計画の名称	大網白里市における未普及箇所への解消に向けた生活環境の改善整備							重点計画の該当
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	大網白里市					
計画の目標								

污水管整備の計画的な整備を推進することにより、未普及箇所の解消改善を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

①下水道処理人口普及率を48% (H28) から50% (H32) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H28当初)	(H30末)	(H32末)	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口	48%	49%	50%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	300百万円	A	300百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合	0.0%
-------	--------------	--------	---	--------	---	---	---	---	---	---	------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
A1-1-1	下水道	一般	大網白里市	直接	—	污水	新設	大網白里幹線枝線整備	污水管 φ200 L=550m	大網白里市						42.0	
A1-1-2	下水道	一般	大網白里市	直接	—	污水	新設	白里第一号幹線整備	污水管 φ200, 250 L=460m	大網白里市						96.8	
A1-1-3	下水道	一般	大網白里市	直接	—	污水	新設	白里第一号幹線枝線整備	污水管 φ200 L=190m	大網白里市						32.8	
A1-1-4	下水道	一般	大網白里市	直接	—	污水	新設	白里第二号幹線枝線整備	污水管 φ200 L=790m	大網白里市						128.4	
合計																300.0	

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	

C 効果促進事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号													備考		

社会資本総合整備計画

平成28年 3月23日

計画の名称	大網白里市における未普及箇所への解消に向けた生活環境の改善			重点計画の該当
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	大網白里市	
計画の目標	汚水管渠整備の計画的な整備を推進することにより、未普及箇所の解消改善を図る。			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

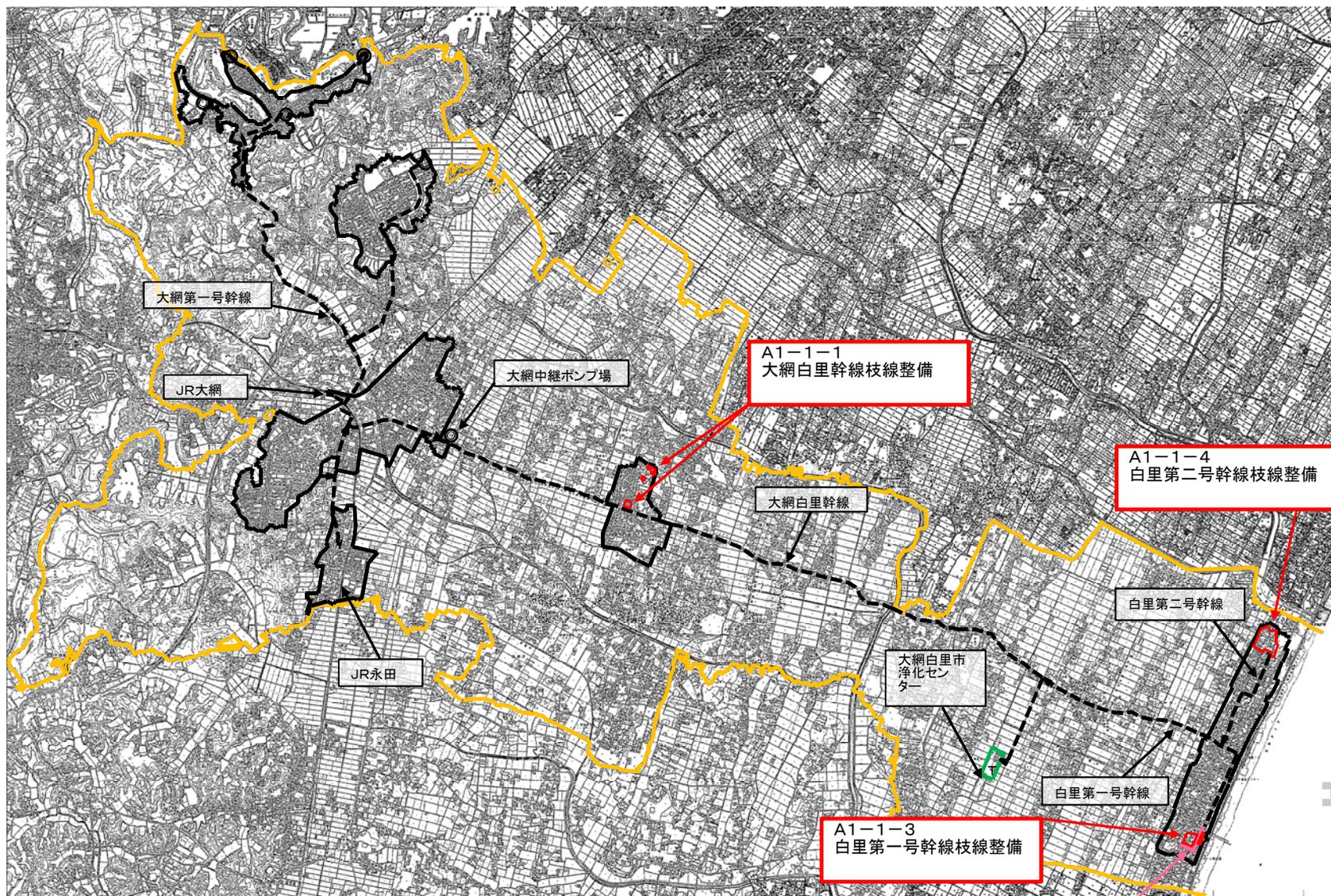
	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	8.000	12.300	2.700	1.000	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	8.000	12.300	2.700	1.000	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	8.000	12.300	2.700	1.000	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	大網白里市における未普及箇所への解消に向けた生活環境の改善整備		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	大網白里市

大網白里処理区計画図



- 行政界
- 下水道法による事業計画区域
- 既設幹線
- 終末処理場
- 汚水幹線整備区域
- 既設ポンプ場
- 汚水枝線整備区域

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業等タイプ)

計画の名称: 大網白里市における未普及箇所への解消に向けた生活環境の改善整備

事業主体名: 大網白里市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	
・上位計画である「九十九里・南房総流域別下水道整備総合計画」との整合を図っている。	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	
・認可区域内において強い要望の出ている地区の整備促進を行なっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	
・面整備は無理の無い事業量で整備拡大を図るため、現実的な目標値であり整合は取れている。	○
2) 定量的指標の明瞭性	
・整備面積や普及率など数値に表せる目標値であるため明瞭である。	○
3) 目標と事業内容(基幹事業)の整合性	
・目標としている計画に沿った基幹事業を行なうため整合している。	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
・十分な効果は見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
・整備区域に対しては整備年度に工事説明を行い、受益者負担金の説明も合わせて行い、丁寧な説明を心がけ理解を求めながら事業を行なっている。	○
2) 地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
・計画区域内の住民の意識が高く、整備の要望が強いため事業に対して協力的である。	○